

最低制限価格の決定方法について

最低制限価格を設定する案件については、入札参加者が応札時に入力した任意の3桁（「000」を除く）の数字「くじ番号」を利用して「X」及び「Y」の値を決定します。

具体的には、次の手順によって「X」及び「Y」の値を決定します。

[参考]

最低制限価格（税抜）＝ 予定価格（税抜）×（最低制限価格基準率－（0.002X＋0.0002Y））

◆ 決定の手順

- ① 各入札者は、電子入札システムで入札金額を登録する際、任意の3桁（「000」を除く）の数字「くじ番号」を画面内の「くじ番号」欄に入力します。
- ② 電子入札システムが入札金額登録を受理した時刻のミリ秒を「到着ミリ秒」とし、3桁の数字としてシステムが自動的に取得します。
- ③ 「くじ番号」と「到着ミリ秒」の和の値を求め、算出された値を「決定くじ番号」とします。なお、和の値が4桁となった場合は、下3桁の値を採用します。
- ④ 入札をした者の「決定くじ番号」の和を求めます。
- ⑤ ④で求めた値の、十の位を「X」、一の位を「Y」とします。

【例】有効な入札をした者が、A～Cの3社であった場合

業者	入力くじ番号	到着ミリ秒	決定くじ番号	【X及びYの求め方】 入札をした者の「決定くじ番号」の和は、 $478 + 010 + 746 = 1234$ よって、「X」は十の位の値である「3」、「Y」は一の位の値である「4」となる。
A社	353	125	478	
B社	021	989	010	
C社	733	013	746	

◆ 備考

- ・各入札参加者の「くじ番号」の情報は、開札執行時や閲覧等で公表します。